

# 柿 生 文 化

柿生郷土史料館 情報・研究誌  
 住所: 川崎市麻生区上麻生 6-40-1  
 柿生中学校内  
 電話: 044-988-0004 (柿生中学校)  
<http://www.kakio-kyodo.com>  
 第80号



## 明けましておめでとう ございます

—— 平和で意義ある一年であることを願いながら ——

昨年、2014年は、自然災害の多い年でした。アメリカ東部海岸で起きた豪雨は2～3時間で550ミリというとんでもない雨量を記録しました。東京都の年平均降水量は約1528mm ですから、僅か数時間で東京の年間降水量の30%以上が降ったということになります。

日本では、北海道各地で5月から真夏日(摂氏30度以上)が観測され、豪雨も各地で発生し、6月高知県四万十市では、雨量が24時間で約439mm(高知市の年間平均降水量約2547mm)を記録しました。広島市安佐北区では3時間で217mm を記録し大規模な土砂災害が発生しました。近年、「記録的大雨情報」「百年に一度の〇〇」という言葉がテレビなどからよく聞かれるようになりました。これは、気象に大きな変化が起き始める前触れのような気がします。

地下の動きも心配です。昨年には1月の阿蘇中岳の噴火。5月の岐阜・長野県境の群発地震とそれに連動したと思われる9月御嶽山の噴火は57名を越える犠牲者を出す事になりました。5・6・8月の桜島の噴火活動。そして、10月22日の長野県北部を震源とするマグニチュード6～7、最大震度6弱の大地震の発生。11月25日の阿蘇山大噴火。など地球内部の活発な動きも出てきました。

関東地方もけして人ごとではありません。しっかりとした備えが必要となってくることでしょう。

昨年は、明るい話題もたくさんありました。その中で10月に発表があったノーベル物理学賞に日本人3名が受賞しました。受賞者3名の共通点は、地道な研究をこつこつと丁寧にやり遂げたという根気と執念



のすごさでした。見習いたいものですね。もう一つは、今年11月に日本の和紙が、国連教育科学文化機関(ユネスコ)に認められ世界無形文化財に登録されることになりました。日本の無形文化財登録はこれで23件目となります。無形文化財は、今まで能楽・浄瑠璃・歌舞伎・雅楽・組踊のような古典芸能や神楽・田植踊・新嘗の祭などの各種祭礼、小千谷縮・越後上布・結城紬等の織物技術、食文化、そして今回の手漉き和紙技術などでした。日本文化は造形物として残る「物」としての文化ではなく形として残らない「精神的」「情緒的」な要素を強く持ったものが多いように思われます。まさに伊勢神宮式年遷宮の20年に一度立て替える社殿と同じで、「物」として永年にわたり、残すのではなく「技術」や「伝承」「行動様式」などとして継承させていく姿に強い魅力を感じます。「おもてなし」などは、そのいい例かもしれません。

そう考えていきますと私たちの郷土にも同じような無形文化財がたくさん存在するのではないのでしょうか。記憶として残されているうちに掘り起こすことも大切なことと思います。

何かと課題の多い平成27年となりそうですが、意義のある一年としていきたいものです。柿生郷土史料館もがんばります。

(文:板倉)

### 訃 報

柿生郷土史料館の初代支援委員長、小島一也氏が12月5日に急逝されました(87歳)。

氏は、柿生郷土史料館創設の立役者としてご活躍いただき、委員長ご勇退後も大黒柱として館の発展に多大な貢献をしていただきました。ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

なお今後とも史料館発展のため、関係者一丸となって精進していく所存です。皆様方の温かきご支援を賜りますよう、よろしくお祈り申し上げます。

シリーズ

「麻生の歴史を探る」第50話

麻生郷 ～麻苧(あさお)～

小島 一也 (遺稿)

それでは麻生郷とはどの地域をいうのでしょうか。先に47話で横浜都筑区茅ヶ崎神社の麻生庄15ヶ村の神事を述べましたが、これと同じ記録がお隣の町田市三輪楢山(杉山)神社にあります。それは「2月春分の日麻散～略～古ハ当郡麻生庄15ヶ村是ヲ勤ムト言フ 文和元年2月 杉山神社祝部」(ふるさと三輪)と記したもので、文和元年(1352年)は尊氏が保寧寺領に禁制を出した年に当たります。この15ヶ村がどこであるかは分からず、わかるのは今は行政区が異なっても、茅ヶ崎(横浜)、三輪(町田)は麻生郷であったということです。



茅ヶ崎杉山神社



尊氏が保寧寺へ与えた禁制

その反面、現麻生区内

でも多摩川水系(五反田川)の高石、細山、金程、向原は麻生郷ではなく小沢郷ですが、古来この地域は橘樹郡と都筑郡の接点で(細山、金程、向原は都筑郡の時あり)、中世稲毛三郎の所領から菅、矢の口、高石、細山、向原、金程などが小沢郷を形成したものと思われます。尊氏が麻生郷に禁制を出した頃の暦応4年(1341年)の史料に「小沢郷金程村、攝津親秀所領」の文書があり、攝津氏は鎌倉幕府の評定衆で北条一族では無く、政変の中、鎌倉以来の所領を維持していたようです。

これと同じ現麻生区黒川は都筑丘陵とは多摩川水系(三沢川)で隔てられた地で、中世武蔵国小山田庄黒河郷と呼ばれ、貞治3年(1362年)鎌倉公方足利基氏(幕府の出先)が縁者と思える御仁々局と呼ぶ者に黒河郷半分を与えた

文書があり、そして局は貞治6年鎌倉円覚寺黄梅院にこの地を寄進した書状が今に残り、黒川は麻生郷ではなかったことを説明しています。

時代は経て天正18年(1590年)豊臣秀吉の小田原攻めの際、当時北条氏治下だった麻生郷9ヶ村に出された兵士の乱暴狼藉を禁ずる禁制(市文化財)が今に残っています。それによるとその9ヶ村とは王禅寺村、黒金之郷、三輪之郷、片平之郷、万福寺村、古沢村、石川郷、荏田之郷、大榎之郷以上9ヶ村と記されていて、本郷である上・下麻生と早野村はこれに含まれると思われ、広域的地域になっております。

ここに三輪の名があつて岡上の名がないのは、この地は地形的に隣接する小山田郷下にあつたとされるので、栗木村と同様に黒川と同じ小山田郷に含まれていたから、と思われ。したがって麻生郷には9ヶ村に加え、鶴見川流域の現青葉区寺家、鴨志田、成合などが含まれていたと考えられ、そこには杉山神社があり、前述した「麻生庄15ヶ村」を窺い知ることができます。

本来、郷は数ヶ村からなる郡下の行政組織で、年貢納入の単位であったようですが、時代とともに庄・郷・村が混在し、郷は次第にその地方の呼び名となっていき、江戸時代の文化文政(1820年)の頃の武蔵風土記稿は「麻生」の項で「此郡名ヲツカウルモノ 王禅寺、万福寺村ノ2村ニ限リ…」と記し、麻生郷は上下麻生村だけとなりその郷名を消していきます。

昭和57年麻生の名が区名となって思わぬ波紋が起きました。それは全国多くの麻生の呼び名が「あそう」なのに何故「あさお」なのかの疑問でした。古来この地は「麻生(あさお)のお不動様」と呼ばれる如く「あさお」でそのルーツは前述した万葉集東歌「麻苧(あさお)らを麻笥(おけ)に…」にあると思われ、そのところが区名に選定した歴史的価値なのでしょう。

参考文献:「川崎市史」「横浜市史」「ふるさと三輪」杉山神社考





# 日の丸あれこれ (1)

小林 基男(柿生郷土史料館専門委員)

## ◆はじめに◆

日の丸が初めて正式に日本国の国旗であると定められたのは、驚くなかれ、つい最近のことでした。何と 20 世紀も残りわずかとなった 1999(平成 11)年の 8 月 13 日です。この日、「国旗及び国歌に関する法律(略称国旗国歌法)」が公布され、即日施行されました。しかし、私たちは法的根拠の有無にかかわらず、ずっと日の丸を国旗として認識していました。オリンピックや世界大会などで、日本選手が活躍し、表彰台の後ろの国旗掲揚台に、日の丸が揚がると素直に嬉しくなり、日の丸はシンプルでデザインとしても優れていると、ちょっと自慢に思ったりしませんでしたか？

このように慣習的に日の丸は国旗として受け止められ、多くの国民がその事実を認めていたにも関わらず、長い間日の丸(日章旗)は、法的には国旗とは言えない状態に置かれてきたのです。では何故そのような状態に置かれてきたのでしょうか？

日の丸を巡るいくつかのエピソードを、これから綴ってみたいと思います。肩の凝らない読み物のつもりで、お付き合いいただけると幸いです。

## ◆開国と船印◆

国旗の存在が必要となったのは、いつ頃からなのか。そして何故必要とされたのでしょうか。洋の東西を問わず、戦争では敵味方を瞬時に見分けることが必要です。そのために使われたのが、旗指し物でした。陸上ではそれで用が足りたのですが、船を使つての貿易となると、どこの船か所属を明らかにする必要があります。とりわけ、大きな利益を狙って遠隔地貿易に乗り出す貿易船は、海賊船に狙われやすいなど、大きな危険に備えて、腕っ節の強い男たちを大勢乗せておりました。それは、自分たちの船が襲われた時の用心であると同時に、備えの弱い襲いやすそうな船や町に出会った場合、直ちに海賊に早変わりすることも意味していました。日本の倭寇なども、その好例の一つです。

そこから、海上で行き会う船舶、外国の港に入港する船舶は、自分たちの所属を示す船印を、船尾に掲げるという約束ごとが、出来上がりました。日本史に照らすと室町時代の勘合貿易や秀吉や徳川幕府初期の朱印船貿易の時代です。後には、幕府の持ち船の船印は徳川家の家紋の「丸に三つ葉葵」に統一されますが、朱印船貿易の時代には、許可を得た朱印船の全てが、船尾に「朱の丸」を掲げていたことが知られています。

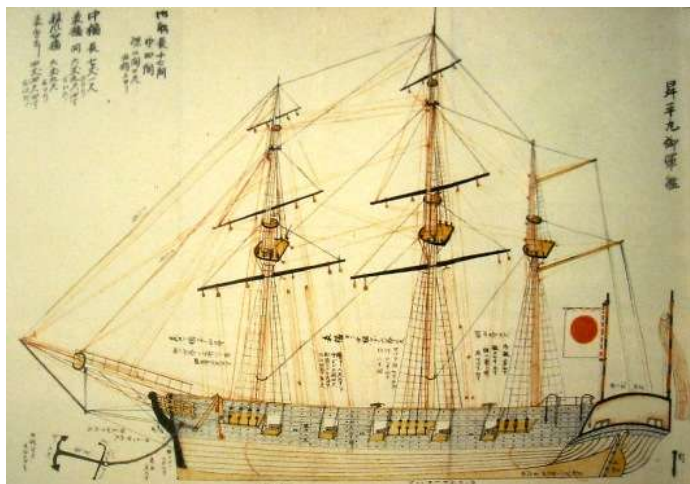
西洋で船印が掲げられるようになるのは、オスマン帝国との貿易で大きな利益を得ていた、ヴェネツィアやジェノヴァの商船が最初でした。主として地中海でのことだったのですが、15 世紀後半から大航海時代に入ると、船印だけではなく、未開の地に旗を建てることで、ここは自国の領土だと主張するようになります。

即ち、植民地獲得の手段として国籍を表す旗＝国旗が必要とされることになりました。以後、全ての船舶は国旗を掲げることで、船籍を明らかにすることを義務付けられたのです。

ところが徳川幕府は鎖国体制を敷き、自国船舶の海外渡航を禁じ、幕府自らも含めて外洋船を持たない体制を整えました。全てが内航船ですから、船印は各藩の藩主の家紋で済みました。事情が変わったのは、欧米列強の世界進出が加速化し始めた 19 世紀中ごろにかけてのことでした。そのピークが 1853 年のペリー一行の来航でした。翌年には日米和親条約が結ばれましたから、外国船と区別する標識として、各藩共通の日本国として一本化した、「日本惣船印」を制定する必要が生じたのです。これより先、ペリー来航の少し前、ロシア船の蝦夷地への南下を警戒した幕府は、蝦夷地の天領化と北方警備のために御用船を派遣しているのですが、その船印として「朱の丸」を使用していました。



船尾の2か所に「日の丸」を掲げた幕府海軍の旭日丸



薩摩藩が幕府に献上した「昇平丸」

船尾に大きな「日の丸」が見える

そこから幕府は、薩摩藩主島津斉彬や幕府海防参与の徳川斉昭らの進言を入れ、「日の丸」を船印と定め、老中安倍正弘によって、全国に布告したのです。これより先、1853 年に幕府は外洋船の建造禁止令を撤廃し、外洋船の建造を許可しています。この時いち早く外洋船の建造に乗り出したのは薩摩藩でした。これが有名な洋式軍艦「昇平丸」です。藩主の島津斉彬は建造した「昇平丸」を幕府に献上したのですが、この時、昇平丸の船尾に「日の丸」(日章旗)が掲げられていました。これが日章旗が日本を表す船旗となった最初でした。(続く)

ついに完成！  
ふるさと柿生の記憶を DVD 化  
第1弾

# 「身近にあった信仰の世界と人々の思い」

◆◆◆晩秋の上麻生「秋葉講」を訪ねて◆◆◆

柿生郷土史料館では、郷土に今日まで継承されてきた貴重な無形文化財を映像に残し、長年培われてきた人々の思いを後世にしっかりと伝えていくために、柿生の無形文化財を映像化していきたいと考えています。

今回は、その第1回目として、上麻生浄慶寺境内に在る秋葉神社で毎年10月17日に行われる「秋葉講」を撮影し、秋葉神社が何百年もの間、存続してきた理由や人々の思いについても視点に入れながら、DVD 制作に取り組んできました。

この映像は特に川崎市に居住されている方々にはぜひとも視聴していただきたいと思います。川崎という大都会の中であって、現代人が忘れてしまいかけている何かを気付かせてくれるかもしれません。

なお DVD をご希望の方にはお付けしておりますので、柿生郷土史料館に直接お越しいただき、お申し出ください。なお、その際、史料館の諸活動支援のためご寄付にご協力いただければ幸いです。



## 柿 生 郷 土 史 料 館 開 館 日 の ご 案 内

◎開館日：奇数月は毎日曜日、偶数月は毎土曜日

**1月** 11・18・25日(毎日曜日) 1月4日は休館 **2月** 7・14・21・28日(毎土曜日)

◎開館時間：午前10時～午後3時

## 柿 生 郷 土 史 料 館 1 月 以 降 の 催 物 ご 案 内 (入場無料)

### 第51回 カルチャーセミナー

鶴見川流域文化探訪シリーズ(3)

### 「花子とアン」(NHK 朝の連続ドラマ)と横浜



■■■ 小机が生んだバイブルの村岡さん ■■■

- ◆講師：平井 誠二 氏 (大倉精神文化研究所研究部長)
- ◆日時：平成27年1月18日(日) 13時30分～15時30分
- ◆会場：柿生郷土史料館特別展示室
- ◆内容：村岡花子と横浜小机にあった村岡家の姿をお話しいたします

### 第7回 特別企画展

### 「新聞で見る近代日本の歩み」展



■■■ 明治・大正・昭和の歩みと人々の生活 ■■■

- ◆期 間：平成27年1月25日(日)～6月13日(土)の開館日
- ◆会 場：柿生郷土史料館特別展示室
- ◆内 容：◎明治・大正・昭和の歩みを実物の新聞や号外をもとに考えます  
◎人々の生活がどのように変化してきたのか考えます  
◎日本の政治と対外関係について考えます

## 柿生郷土史料館をご支援下さっている法人会員をご紹介します

温かいご支援に感謝申し上げます

12月1日現在 59 法人(順不同・敬称略)

- ★ノジマNEW鶴川店★FISH・ON!王禅寺★まつや★孝友商事★美容院 Luci★小料理わかば★ガスト柿生店
- ★レストランベル★とん鈴★神奈川トヨタ自動車(株)麻生店★フラワーショップまきば★ラーメン信華★(有)山義産業
- ★広東商事★菊川園★桐光学園★サイトウ農芸★柿の実幼稚園★柿生保育園★川崎青葉幼稚園★栄運輸(株)
- ★(株)カジノヤ★ブックポート203栗平店★和光大学附属梅根記念図書館・情報館★(有)白百合商事★奈良工業
- ★朝日ホーム★(株)ささらプロダクション★杉本電気管理事務所★カラオケゆう★誠和産業(株)★(株)スズユウ商事
- ★(有)青戸建材店★(有)荒川電気工事★(株)ティエムコーポレーション★エムケープリント★(株)北島工務店★(株)観財
- ★(有)粕谷住宅資材★(有)志田電子製作所★川崎信用金庫柿生支店★(有)麻生自動車★JAセラサ川崎柿生支店
- ★(有)栄和★(株)三共エステート★リック設計企画(有)★長瀬敏之土地家屋調査士事務所★プライマリー(株)
- ★(有)柿生恒産★(株)ホシノ商会★アルナ園★虹の里養護施設★たま日吉台病院★麻生総合病院
- ★月読神社★琴平神社★王禅寺★浄慶寺★常安寺